

タイにおけるトップセールス実施状況

1 概要

平成26年8月5日から8月9日までの間、横内知事がタイ王国を訪問し、トップセールスを実施しました。同国へのトップセールスは平成23年度と昨年(平成25年)度に続く3回目です。

今回は首都バンコクにおいて県内機械電子産業等の販路開拓、県産果実の輸出拡大、本県への観光客の誘致の3つの目的でトップセールスを行って参りました。

まず、昨年、県と同国工業省が経済連携協定を結んだことを受け、県内企業の販路開拓、現地進出を支援する山梨県タイ・ビジネス・サポート・デスクの開設式典や、県内企業6社が参加して現地の製造業関係企業7社とのマッチング商談会を行いました。

また、県産果実(桃、ブドウ)の輸出促進のため、現地大手小売との意見交換や、富士の国やまなしフルーツ・フェアを行ったほか、タイ最大の流通チェーンらと輸出促進に係る覚書を締結することができました。

さらに、県内観光関係8事業者が参加し、現地主要旅行会社16社との観光商談会を行ったほか、山梨の認知度を高めるため、現地のコンビニ等と連携し、山梨への旅行等を賞品とした富士山PRキャンペーンを行って参りました。

今回のトップセールスをきっかけとし、タイと本県との双方がWIN - WINの関係を構築し、継続的な協力関係を維持できるよう、各分野における取り組みを一層強化していきたいと考えています。

2 日程

| 日時 | | 行事等 |
|------------|-------|--|
| 8/5 (火) | 10:50 | 羽田空港 発 (ANA847) |
| | 15:25 | タイ・スワンナプーム国際空港 着 |
| 8/6 (水) | 9:30 | (1) ビジネス・サポート・デスク視察 |
| | 11:00 | (2) タイ政府関係者、日本大使館等との意見交換 |
| | 14:00 | (3) 中小企業商談会 |
| | 14:30 | (4) 現地大学生等との意見交換 |
| | 17:00 | (5) ビジネス・サポート・デスク開設式及び交流会 |
| 8/7 (木) | 10:30 | (6) サハ・ローソン、タイ・ヤマハ、エイチ・アイ・エスと連携した富士山PRキャンペーン |
| | 11:00 | (7) 富士山PRキャンペーン関係者による意見交換 |
| | 13:30 | (8) タイ農業・協同組合省表敬訪問 |
| | 15:30 | (9) 現地大手小売業者との意見交換 |
| | 16:30 | (10) HISの新型店舗の視察 |
| | 18:30 | (11) タイ農業・協同組合省・農務局長官との意見交換 |

| | | |
|------------|-------|----------------------------|
| 8/8 (金) | 9:00 | (12) 観光関係事業者との意見交換 |
| | 10:30 | (13) 富士の国やまなし観光商談会 |
| | 11:50 | (14) タイ文化省との世界遺産に関する意見交換 |
| | 14:00 | (15) 富士の国やまなしフルーツ・フェア |
| | 14:30 | (16) 現地果実小売業者への訪問 |
| | 18:00 | (17) 現地果実輸入会社・小売事業者等との意見交換 |
| 8/9 (土) | 10:25 | タイ・スワンナプーム国際空港 発 (ANA848) |
| | 18:45 | 羽田空港 着 |

3 事業概要及び成果

(1) ビジネス・サポート・デスク視察

- ・ 日 時 平成26年8月6日(水) 9:30 ~ 10:30
- ・ 会 場 東洋ビジネスサービス(株)
- ・ 参加者 (山梨県側) 知事、甲府商工会議所副会頭、山梨県職員他
(先方) 10名程度
(ジェットロバンコク 保住正保所長、タイ国家社会経済開発委員会 松島大輔顧問、東洋ビジネスサービス(株) 梅木英徹社長 等)
- ・ 概 要 山梨県タイ・ビジネスサポートデスクの立地及びデスクの環境を確認するとともに、デスク業務の円滑な執行と山梨県企業のビジネスチャンスの獲得を祈願する仏教式の祈祷を実施した。

(2) タイ政府関係者、日本大使館等との意見交換

- ・ 日 時 平成26年8月6日(水) 11:00 ~ 12:30
- ・ 会 場 グランドミレニアム・スクンビットホテル 3階ジュニアボールルーム3
- ・ 参加者 (山梨県側) 知事、甲府商工会議所副会頭、山梨県職員他
(先方) 10名
(在タイ日本国大使館 岡島洋之参事官、ジェットロバンコク 保住正保所長、タイ国家社会経済開発委員会 松島大輔顧問、タイ下請産業振興協会 ソムキアット・チューパックジャラーン会長、東洋ビジネスサービス(株) 梅木英徹社長 等)
- ・ 概 要 タイの政治情勢をはじめとして、東南アジア市場における経済情勢や製造業の事業環境等について情報交換を行うとともに、県内企業の海外展開のあり方等について、意見交換等を行った。
- ・ 成 果 事業環境等に係る理解が深まるとともに、タイの日本国政府機関関係者やタイへの海外展開を進める上でのキーパーソンとの人的ネットワークの構築が図られた。

(3) 中小企業商談会

- ・ 日 時 平成26年8月6日(水) 14:00～16:00
- ・ 会 場 グランドミレニアム・スクンビットホテル 3階ジュニアボールルーム2
- ・ 参加者 (山梨県側) 知事、甲府商工会議所副会頭、やまなし産業支援機構職員、県内企業(6社) 他
 (先方) タイ企業: 7社(18名)
 セレモニー出席者: 15名程度
 (タイ工業省 パソコン・チャイラット部長、ジェットロバンコク 保住正保所長、タイ国家社会経済開発委員会 松島大輔顧問、タイ下請産業振興協会 ソムキアット・チューパックジャラーン会長、東洋ビジネスサービス(株) 梅木英徹社長 等)
- ・ 概 要 商談会(県内企業6社とタイ下請産業振興協会傘下企業7社)
- ・ 成 果 熱心な商談が行われ、今後の取引や協力関係構築が期待される。
 また、やまなし産業支援機構とタイ下請産業振興協会が締結している覚書に基づく経済交流の一環として、今回は11月に山梨で開催する「やまなしテクノロジーメッセ」にタイ側企業が出展し、商談会を含めた交流を行うこととなった。

(4) 現地大学生等との意見交換

- ・ 日 時 平成26年8月6日(水) 14:30～15:30
- ・ 会 場 グランド・ミレニアム・スクンビット・ホテル 3階
- ・ 参加者 (山梨県側) 知事、山梨県職員他
 (先方)
 ・ スィーパトゥム大学 准教授 森 康眞
 ・ 同大学で日本語を学ぶ学生 4人
 ・ 同大学 専任教員 高橋亜紀
 ・ バンコクで働く日本人 3人(県立大学卒業生1人と山梨中央銀行駐在員1人を含む)
 ・ アサンプシオン大学で学ぶ山梨県出身者 1人 合計10人
- ・ 概 要 訪日経験や山梨を訪れたことのある現地の大学生、現地で働く日本人など、10名に集まってもらい意見交換を行った。
 話題は、タイ人観光客を受け入れる場合の体制整備、「気持ち良く山梨を訪れてもらうにはどうすれば良いのか」などであった。
- ・ 成 果 タイと日本の両方をよく知る方々からの意見を聞くことができた。
 主な意見として、
 ・ 富士山の知名度は高いが山梨県は知られていない。
 ・ 写真を撮るのが大好き。山梨県の花や森林といった自然を背景に自分の写真を撮りたい。
 ・ 東京から90分の近さで気軽に雪遊びやスケートなど冬のないタイでは体験できないことが楽しめる。

- ・すべてタイ語対応でなくても、少なくとも英語での表示や情報発信をして欲しい。

などが挙げられた。これらを今後の施策の参考としていく。

山梨の観光資源はタイの人々にとっても好まれると感じた。加えて、タイの人々は非常に親日的である。さらに優秀な若い人材が日本に憧れを抱き、日本語を一生懸命に学んでいる。そうした若い世代に対し、山梨県の素晴らしさを訴求するためにも、今後タイからの観光客はもちろん、留学やインターンシップなど多彩な形態での誘客を図っていく。

参 考 現場の様子 動画

YouTube版山梨インターネット放送局での配信

<https://www.youtube.com/watch?v=w-jm1NaXN3E&index=9&list=UU3QGM-OI-f-glluPBwapG5Og>

<https://www.youtube.com/watch?v=NIDjWhBmghw&index=8&list=UU3QGM-OI-f-glluPBwapG5Og>

(5) ビジネス・サポート・デスク開設式及び交流会

- ・ 日 時 平成26年8月6日(水) 17:00～19:00
- ・ 会 場 グランドミレニアム・スクンビットホテル 3階ジュニアボールルーム3
- ・ 参加者 (山梨県側) 知事、甲府商工会議所副会頭、山梨県職員他
(先方) 50名程度
(タイ工業省 アッチャッカー・シブルンアン局長、在タイ日本国大使館 岡島洋之参事官、ジェトロバンコク 梅北栄一次長、タイ国家社会経済開発委員会 松島大輔顧問、タイ下請産業振興協会 ソムキアット・チューパックジャラン会長、東洋ビジネスサービス(株) 梅木英徹社長、バンコク山梨県人会、県内企業者、タイ現地企業者、メディア関係者 等)
- ・ 概 要 山梨県タイ・ビジネスサポートデスクの設置について、タイ政府関係者や現地で活動する日本国関係者や企業等に報告し、デスクの活用による県内企業のタイへの進出等支援を進めるとともに、これら関係者との交流を図った。
- ・ 成 果 タイ王国工業省や在タイ日本国大使館の高官、及び海外ビジネス支援を行っているジェトロバンコクの責任者等に、山梨県のビジネスサポートデスク設置をアピールするとともに、山梨県のタイ進出への取り組み状況等を示すことができる貴重な時間を持てた。また、多数の参加者同士の交流の中から、新たな人的ネットワークの形成が図られた。

(6) サハ・ローソン、タイ・ヤマハ、エイチ・アイ・エスと連携した富士山PRキャンペーン

(7) 富士山PRキャンペーン関係者による意見交換

・ 日 時 平成26年8月7日(木) 10:30 ~ 12:00

・ 会 場 ローソン108・サーミット店他

・ 参加者 (山梨県側) 知事、山梨県職員他
(先方)

・ サハ・ローソン 社長 田村比鏡

・ タイ・ヤマハ・モーター

General Manager Communications & Public Relations

スウォンスタ・マナブーンパーンブーン

・ H.I.S. TOURS 社長 中村謙志

・ 概 要 “メード・イン・ジャパン”という切り口で、次の3社とタイアップし、富士山の写真をメインに使った「富士山PRキャンペーン」を開始した。

・ タイでコンビニエンス・ストアを拡大しているサハ・ローソン(店舗数32店舗)

・ 日系旅行者の中で、山梨県へ最も多く、タイの個人旅行者を送客している、エイチ・アイ・エス・ツアーズ

・ 親日的なタイで市民の足としてバイクやスクーターが人気のタイ・ヤマハキャンペーンの期間は、11月15日まで。現地のローソン全32店舗で70パーツ(約220円)以上の買い物をすると、山梨県が提供する4泊5日の富士山旅行(ペア2組)や、ヤマハのバイクなどが当たるといったもの。

これにより、タイの一般消費者に対し、山梨県の認知度を向上させ、本県への更なる誘客を目指す。

・ 成 果 8月7日にローソン108・サーミット店で開催された「富士山PRキャンペーン」のキックオフ・イベントには現地と日系のテレビ・新聞・雑誌などのメディアが50社集まり、このキャンペーンに対する関心の高さが窺われた。

多数のマスコミを前に、知事は“富士の国やまなし”の魅力をアピールし、この様子は現地の新聞や経済雑誌で報道されるとともに、時事通信や共同通信、日本経済新聞、産経新聞などの日系メディアでも配信された。知事のこうしたメディア露出により、タイのみならず日本国内の自治体等から本件について多数の問い合わせがあるなど、大いに“富士の国やまなし”をPRできた。

参 考 現場の様子 動画

YouTube版山梨インターネット放送局での配信

https://www.youtube.com/watch?v=_RDoHATv_CQ&index=14&list=UU3QGM-OIf-glluPBwapG5Og

<https://www.youtube.com/watch?v=zAD6UrUZkE4&index=11&list=UU3QGM-OIf-glluPBwapG5Og>

(8) タイ農業・協同組合省表敬訪問

- ・ 日 時 平成26年8月7日(木) 13:30～14:15
- ・ 会 場
- ・ 参加者 (山梨県側) 知事、山梨県職員他
(先方) 農業・協同組合省 ジラワン副次官、ダムロン農務局長官ほか3名
- ・ 概 要 県産果実や山梨県の観光資源等をPRし、意見交換を行った。
- ・ 成 果 双方の農業発展に向けた交流や山梨県産農産物の輸出促進に向けて手応えを感じた。

(9) 現地大手小売業者との意見交換

- ・ 日 時 平成26年8月7日(木) 15:30～16:20
- ・ 会 場 バンコク伊勢丹
- ・ 参加者 (山梨県側) 知事、山梨県職員
J A山梨中央会長廣瀬久信、山梨県果実輸出促進協議会
(先方) 伊勢丹タイランド阿久根巨樹社長
- ・ 概 要 果実、加工品等を扱っている日系百貨店であるバンコク伊勢丹を訪問し、県産果実の輸出促進について意見交換を行った。
- ・ 成 果 輸出拡大に向けた連携を要請し、今後の連携に手応えを感じた。

(10) H.I.S. (エイチ・アイ・エス) の新型店舗の視察

- ・ 日 時 平成26年8月7日(木) 16:30～16:50
- ・ 会 場 H.I.S.サイアム店
- ・ 参加者 (山梨県側) 知事、山梨県職員他
(先方) H.I.S. TOURS 社長 中村謙志
- ・ 概 要 BTS(高架鉄道システム:バンコク・スカイトレイン)のサイアム駅から直結する商業施設内にあるH.I.S. TOURS店舗を訪問し、現地における訪日需要の実情を視察した。

併せて、7月に新設した個人客を集めるための企画展示「どこでもドア」を見学した。ドアを開けると定点カメラから撮影した日本のライブ映像が映し出され、それによって、訪日旅行への関心を惹こうというもの。その核となる映像として、本県が提案・支援をした河口湖畔ロープウェイ山頂駅から眺めた富士山のライブ映像が流れており、タイの方の反応も良いとのことであった。

現地では好調な景気と親日的な国民性が大きく寄与し、富裕層のみならず、大学等を卒業したばかりの若者にも、3泊から5泊程度の日本旅行が人気となっており、エイチ・アイ・エスはそうした個人旅行客を主に扱っている。

- ・ 成 果 エイチ・アイ・エスではこのアトラクションが好評であれば、設置期間の延長や配信映像の追加を検討するとのことであった。映像を追加する際には山梨県の素材を加えてもらえるように知事から依頼し、“富士の国やまなし”を一層視覚的に周知できるようPRができた。

参 考 現場の様子 動画

YouTube版山梨インターネット放送局での配信

<https://www.youtube.com/watch?v=H0L0saBazHU&index=12&list=UU3QGM-OIf-glluPBwapG5Og>

(11) タイ農業・協同組合省・農務局長官との意見交換

- ・ 日 時 平成26年8月7日(木) 18:30～20:00
- ・ 会 場 THE LOCAL (ザ・ローカル)
- ・ 参加者 (山梨県側) 知事、山梨県職員他
(先方) タイ農業協同組合省農務局ダムロン農務局長官ほか9名
- ・ 概 要 今後の双方の農業交流について意見交換を行った。
- ・ 成 果 本県への視察の受入や今後の技術交流の進展を確認した。

(12) 観光関係事業者との意見交換

- ・ 日 時 平成26年8月8日(金) 9:00～10:10
- ・ 会 場 インペリアル・クイーンズ・パーク・ホテル 2階 クイーンズ・パーク3
- ・ 参加者 (山梨県側) 知事、山梨県職員他
(先方)
・ 日本政府観光局(JNTO)バンコク事務所 所長 伊東和宏
・ JTBタイランド 取締役社長 坂田和剛
・ O2 Asia Travel Design Co.Ltd 社長 吉川 歩
- ・ 概 要 タイから日本への多くの観光客を送っている、JTBタイランドの社長、現地で富裕層向け日本旅行を企画・催行しているオー・ツー・アジア・トラベル・デザインの社長や日本政府観光局バンコク事務所長を招き、本県へさらに多くのタイ人観光客が訪れるために求められることなどを聴取した。
- ・ 成 果 3人からの主な意見等は、
・ タイにおける訪日旅行の需要は旺盛。
・ タイ国内の政治情勢は観光には影響していない。
・ タイ人は安ければ行くということではなく、高くてもその価値があれば行く。
・ 円高の時でも訪日観光客は増えていた。いわんや円安の今であればなおさら増加するのは必然である。
・ タイにはない、富士山を含めた美しい風景の写真を撮りたがる。

- ・写真好きでフェイスブック（Facebook）が多い。これを口コミ情報発信に利用すべき。
 - ・おいしいフルーツや日本的な料理を食べたい。
 - ・バンコク市内だけでも200社あるといわれる旅行業者は主要観光地から一つ奥へ入った新しい観光スポットを求めている。
 - ・非常にマナーの良い国民で日本人と似ている。
 - ・皆で共有しようとお土産を箱買いする。
- など、今後の施策に反映すべき知見を得た。

参 考 現場の様子 動画

YouTube版山梨インターネット放送局での配信

<https://www.youtube.com/watch?v=VMskog6DyOo&index=10&list=UU3QGM-0If-glluPBwapG5Oq>

(13) 富士の国やまなし観光商談会

- ・ 日 時 平成26年8月8日（金）10:30～15:00
- ・ 会 場 インペリアル・クイーンズ・パーク・ホテル
- ・ 参加者 （山梨県側）知事、山梨県職員他
（先方）タイの旅行事業者 16社
- ・ 概 要 現地の主要な旅行会社を16社招請し、本県から参加した観光団体や事業者8社との商談会を実施した。
- ・ 成 果 富士山の北麓に広がる山梨県が東京から近いこと、河口湖富士五湖・石和温泉などの地名については現地の旅行会社はある程度の知識を持っていたと感じた。その上で、16社はいずれも価格交渉ではなく、むしろ、まだタイで知られていない「フルーツ狩り」「紅葉や桜の名所」などの観光スポットについて熱心に尋ね、他社に負けない旅行商品を作ろうとしていた。県としても市町村や（公社）やまなし観光推進機構、および県内観光事業者と連携し、積極的に売り込んでいく。

今後、この商談会がきっかけとなり、多くのタイ旅行会社が山梨県の観光スポットや宿泊施設を取り入れた旅行商品を造成し、タイからの観光客がさらに増大することが期待される。

(14) タイ文化省との世界遺産に関する意見交換

- ・ 日 時 平成26年8月8日(金) 11:50 ~ 13:20
- ・ 会 場 インター・コンチネンタル・バンコク内 サマーパレス(広東料理)
- ・ 参加者 (山梨県側)知事、山梨県職員他
(先方)
 - ・ タイ文化省 首席査察官 ポワラウェート・ルンルジー
(イコモス・タイ委員会 会長)
 - ・ 同省 顧問 スッティニー・ヤバプラパス
 - ・ 同省芸術局 建築系上級専門官 バス・ポーシャナンダナ
(イコモス・タイ委員会 書記官)
 - ・ 同省事務次官局国際関係文化事務官 トゥリーチャダ・アウンルーエン
- ・ 概 要 今回、タイ王国政府で世界遺産を所管する文化省のポワラウェート・ルンルジー主席査察官(イコモス・タイ国内委員会の委員長)から、タイが有する5つの世界遺産に係る保護と課題の現状、例えば、景観保護やマイカー規制などを聴取。
タイの文化遺産は、周辺の建築物等の外観・デザインとの調和について課題があるとのこと。
また、タイでは、これから世界遺産にしたい候補が、11カ所あるとのこと。近年、世界遺産登録の審査が厳しくなっており、昨年登録された富士山について、その経緯を質問された。
- ・ 成 果 タイにおける世界遺産を活用した地域振興の取り組みと、世界遺産の保全・管理について、今後、タイ文化省と山梨県との情報交換を様々なレベルで継続していくことを確認した。

(15) 富士の国やまなしフルーツ・フェア

- ・ 日 時 平成26年8月8日(金) 14:00 ~ 14:30
- ・ 会 場 セントラルフードホール・チットロム店
- ・ 参加者 (山梨県側)知事、山梨県職員
J A 山梨中央会長廣瀬久信、山梨県果実輸出促進協議会
(来賓等)在タイ王国日本大使館佐藤重和特命全権大使
(先方)セントラルグループSuttitak Chirathiva取締役、セントラルリテール Pascal Billaud CEO、セントラルフードリテールChiranun Poopat副会長
- ・ 概 要 本県フェアのオープニングイベントとしてテーブルカットを行い、タイ王国の消費者に向けたトップセールスを行った。
- ・ 成 果 イベントや試食には、多くの人々が訪れ、本県果実の認知度の向上を図った。
- 参 考 現場の様子 動画
YouTube版山梨インターネット放送局での配信
<https://www.youtube.com/watch?v=RJUxCbiWgYY&index=3&list=UU3QGM-OIf-glluPBwapG5Og>

(16) 現地果実小売業者への訪問

- ・ 日 時 平成26年8月8日(金) 14:30 ~ 15:20
- ・ 会 場 セントラルフードリテール(株)会議室
- ・ 参加者 (山梨県側) 知事、山梨県職員
 J A山梨中央会長廣瀬久信、山梨県果実輸出促進協議会
 (先方) セントラルフードリテールChiranun Poopat副会長他3名
- ・ 概 要 県産果実の品質の高さをPRし、輸入、販売の拡大を要請するとともに、タイでの輸入、販売情勢等について意見交換を行った。
- ・ 成 果 モモやシャインマスカットに強い関心を示し、今後の県産果実の輸出拡大に向け手応えを感じた。

(17) 現地果実小売事業者との意見交換

- ・ 日 時 平成26年8月8日(金) 18:00 ~ 19:30
- ・ 会 場 オークラプレステージバンコク
- ・ 参加者 (山梨県側) 知事、山梨県職員
 J A山梨中央会長廣瀬久信、山梨県果実輸出促進協議会
 (来賓等) 在タイ王国日本大使館岡島参事官、I P M西本(株)岡添裕章常務
 (先方) セントラルフードリテールChiranun Poopat副会長他3名
- ・ 概 要 果実輸出のパートナー協力に関して、セントラルフードリテール、I P M西本(株)と覚書を締結した。
- ・ 成 果 タイ最大の流通チェーンであるセントラルフードリテール(株)らとタイへの県産果実の輸出に係る協力体制を確認することができ、今後の輸出拡大への手応えを感じた。
- 参 考 現場の様子 動画
 YouTube版山梨インターネット放送局での配信
 <https://www.youtube.com/watch?v=Sslcpsw-kHU&index=6&list=UU3QGM-Oif-glluPBwapG5Og>

【問い合わせ】

- (1) ~ (3) (5) に関しては
 産業労働部成長産業創造課 直通 055-223-1565
- (4) (6) (7) (10) (12) ~ (14) に関しては
 観光部国際交流課 直通 055-223-1620
- (8) (9) (11) (15) ~ (17) に関しては
 農政部農産物販売戦略室 直通 055-223-1603